

会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 令和元年度第2回定例会
開催日時	令和元年7月17日（水）午後3時から5時まで
開催場所	中央図書館会議室
出席者	委員：島会長、鈴木副会長、高橋委員、山辺委員、長谷川委員 （欠席）渡邊委員、東山委員、山口委員、上田委員、福士委員 事務局：中川館長、司城副館長、山田奉仕係長、三城庶務係長
傍聴者	1名
議 題	1 諸報告 2 諮問：「西東京市図書館の開館時間の拡大について」 3 平成30年度図書館事業評価
会議資料の名称	資料1 諮問書「西東京市図書館の開館時間の拡大について」（写し） 資料2 図書館開館時間の拡大について（補足説明） 資料3 多摩地域市町村開館時間状況一覧 資料4 平成30年度西東京市図書館事業評価 資料5 図書館基本計画・展望計画（平成21年度から30年度）：中間報告以降の実施計画に基づく後期5ヵ年取組のまとめ 資料6 平成30年度 西東京市図書館事業概要
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p><u>1 諸報告</u></p> <p>○館長 6月議会において図書館関係の一般質問があった。保谷駅前図書館の駐輪券の発券について、電子図書館の導入について、読書通帳・書籍消毒器、CDの選定、耐震改修についてである。</p> <p>耐震改修の進捗状況は、5月に基本設計の業者が決まり、来年2月には成案がでてくる。工事は再来年度。耐震改修により10年使用期限を延ばす。施設改修としてエレベーター、給排水、空調等を入れ替える。残った予算でレイアウトの変更、公民館の防音設備設置、トイレ洋式化など付帯設備をつける。協議会の意見にあるレファレンスデータベース席の設置、地域資料室の拡張を検討している。</p> <p>会計年度任用職員制度が来年度4月に施行される。全庁的に嘱託職員・臨時職員の採用体制を検討している。図書館サイドもどういう職があるか検討している。</p> <p>教育委員会の事業評価について、また次回に提示するが、図書館はヤング</p>	

アダルトサービス、ブック・スタート、宅配サービスを評価対象としている。

○副会長 会計年度任用職員について、今いる嘱託職員はずいぶん違う働き方になるのか。

○館長 働き方改革の視点から、全庁的にいくつかの部署で職の改革をしようとしている。現在従来の嘱託職員の働きを少し仕分けできればと考えている。これから職員に話を投げかけて決定していくが、考え方の一つとしては、嘱託員の仕事のうち返却、予約処理など司書資格を必要としない仕事はかなりある。臨時職員制度を利用して、単純化できる仕事はその人たちに任せて、浮いた時間でカウンター業務を含めて、職員の補助を嘱託員にやってもらう。職員の戦力が増えないなかで、職員的な戦力を増やしたい。中央図書館だと物流がかなり多いので、それを仕分けることは可能だが、地域館になると仕分けるのは難しい。

○委員 専門的な仕事も含めて、物流が多かろうがなかろうがそれが専門の職員の仕事ではないことを含めて、職員とのコミュニケーション、その大切さを基本においておかないといけない。図書館が分解するおそれを感じている。いつでも専門的集団でありつづけるような姿勢を持ち続けるように。

○館長 単純化作業に職員も追われてしまって、現状220万冊貸し、予約も30件というのはかなりパンク状態になっている。図書館として維持しようとするれば、サービスを切り下げないとやっていけなくなる。それは予約貸出に30件に広げたせいでもあるが、サービスを縮小すると当然物流も減るので、職員、嘱託員の動く時間が増えてくる。そうなるときめ細かいサービスがかけられる。サービスを切り捨てないのであれば、働き方改革を導入しないと難しい。

○委員 嘱託職員は、基本的に資格をもっているのか。

○館長 司書または図書館勤務歴3年以上。嘱託員の司書資格は9割以上です。

○委員 実際に正規職員と同じような仕事できていない部分がたくさんあるわけだから、せつかく司書の資格をもっている人たちが、もちろん正規の職員と場合によってはより長くいると嘱託職員の力が上になる場面がたくさんあるわけだから、きちんと評価しながら、人の持続性を考えていかないと。90%は大変なものだと思う。そういう専門職集団でありつづけてほしい。西東京市ばかりではなくて、他の図書館に対しても、もちろん学校図書館に対しても専門職集団であることが望ましいわけだから、そういう視点だけは、西東京市としては持続して欲しいし、ぜひ学校図書館に向かっても、教育委員会に向かっても、そういうことを推し進めるような力をぜひ蓄え続けてほしい。

第2 諮問西東京市図書館の開館時間の拡大について

○館長 諮問の中身ですが、資料2にあるように、まず中央図書館の開館時間の拡大。朝9時から開館するプランと土日祝日の閉館時間を20時に繰り下げるプランが一緒になっている。これでいくと中央図書館だけで1週間あたり10時間開館時間が増えるということになる。現行56時間ですので、約2割増しになる。

また、谷戸図書館、芝久保図書館の祝日開館を諮問する。これについては平日、土日ともに10時から18時の開館時間のうち、10時開館18時閉館は変わらずに、それを祝日も行う。現状祝日は日曜と重なった場合は、日曜日ということで開館しているけれど、純然たる祝日開館はしていないので、通常の祝日開館を行うということ。これも年間16～17日増える計算になる。

それぞれ諮問理由を(1)(2)ともに資料1に書き出している。超高齢社会を迎え、これまでの利用者アンケートの要望、あるいは耐震改修工事での市民の要望のなかから、中央図書館の開館時間の拡大について、適正な規模を明確にする必要があると感じている。また、市内駅前図書館中央図書館を含め4館あるが、祝日夜間開館の実施を踏まえ、芝久保、谷戸図書館の開館日についても、考え方を明確にする必要があると感じている。以上については、図書館計画の「利用しやすい環境づくり」に照らし合わせて、諮問するものです。答申期限は来年5月末日を目標としている。

資料3から各自治体の中央図書館の開館時間を見ると、朝9時から開館しているのは4自治体。9時30分から開館しているのは5自治体ある。9時からという諮問を出しているが、9時なのか9時30分なのか、10時でいいのか、という点、中央図書館の夜間開館、特に土日祝日の夜間開館について調べたところ、18時以降開いている図書館は、直営館は3館。八王子が7時まで、羽村が8時まで、調布が8時30分まで空いている。指定管理館では、青梅市が8時30分まで、武蔵野プレイスは中央館ではないが夜10時まで開いている。PFIの図書館としては、稲城市が20時まで。府中市が夜10時まで開いている。西東京市中央図書館ではそれが必要であるかどうかというのを明確にしていきたい。地域館の祝日開館だが、地域館も全館とも開けているのは、26市中11市で全館実施している。1館だけ実施しているのは3自治体。未実施は、多摩市とあきる野市、小金井市の3市になる。休館日に祝日があたった場合開館するという祝日開館といえない館が7自治体ある。

○副会長 芝久保と谷戸に関しては、第3金曜日が休館日になっていないが、その件は今回の諮問には関わらないと考えてよいか。

○館長 現状第3金曜日については駅前4館で休館日だが、芝久保、谷戸は変わらず開館する。それについては触れていない。

○会長 中央館の夜間をやっているのは平日のみですね。時間帯別の利用状況については数字としてでているのか。

- 館長 西東京市中央図書館のデータだけでいいますと、特に土日祝日の利用状況で見ると、午後以降時間を追うごとに利用者数が増えていく。6時で終わってしまうので、6時が最大のピークになる。ずっと右肩上がりで時間を追うごとに利用者が増えていって、6時直前は一番混雑している状況である。もし8時まで開館した場合は、新たな利用者というよりは、その方たちの利用が少しなだらかになる予測が立つ。今までの利用状況からすると新規利用者が延長で増えるかというのとは疑問である。芝久保・谷戸についても、閉館時間に向かって伸びていく。
- 会長 平日の7時台はどうか
- 奉仕係長 実感としては少ない。6時くらいがピークでそこから下がっていく。利用者人数、比例して貸出冊数も少なくなっている。
- 委員 その数字というのは、カウンターを利用した人ではなくて、来館者がカウントされているのか
- 館長 貸し出し者数と貸出冊数です。
- 委員 来館者数をカウントするのも一時調査をしてもいいのかもしれない。日常的な貸出者数と貸出冊数はコンピューターで管理しているが、それら辺りのデータがどこかで出せばよい。
- 館長 数字とかデータは改めて出します。
- 会長 他市の土日8時までやっている中央館でその時間帯で利用はどうなのか。
- 副会長 住宅地と商業地だと全然違う気がする。9時開館というのもセットですか。
- 館長 セットしているが分けて考えても構わない。最大値で9時8時です。
- 会長 これはローテーションも変わる。職員の数は減らさないで、嘱託員の制度を変える可能性があるかと。
- 館長 職員側からは正規職員の要求の声は出ているが、現状としては難しい。
- 副会長 利用者側のアンケートで時間を拡大して欲しいというのは、どのくらいあるのか
- 館長 前々から言われているだけで多くはない。ただ実際9時から開けている館があるなかで、諮問するならどういう形がいいか、というのは聞いたほうがいい

と思った。

○委員 旧田無市の図書館は40年前に10時から6時までだった。夜間開館の先駆けだった。10時から6時という形で大変だった。そこを押さえたいうで検討して欲しい。

○館長 中央図書館で遅くまでやっている館を紹介したが、5時で閉館している図書館は17自治体。私どもは、駅前4館で通勤、通学客を夜8時で吸収していると考えている。土日のゴールデンタイムにそれが必要かというのを市民の入ったこの場で決めていただくのが一番である。

○会長 仕事量は増えるわけだから、それにどうやって人を当てていくか。

3 平成30年度図書館事業評価

○館長 資料4は、毎年行っている事業評価です。資料5は図書館基本計画・展望計画の後半5年間の評価をまとめたもの。実際今回議論をいただく資料4を資料5に反映させて、まとめたいと思っている。

○副館長 昨年までのやり方は、今日の説明の後、質問を出尽くすことは難しいので、期限をつけてメールで質問をお受けする。いただいた質問に対してこちらの回答を一定の期限でお返りする。それを事前に見てもらった上で9月の会議に望んでいただく。これが第一段階と思っている。

第二段階は、その質問の結果に対して次回の会議の説明で納得いただけたら、説明に関しては終了。今度はそれぞれの項目に関して協議会からの評価をどう進めていくかというところなる。

例年ですと次回の会議は、質問のやりとりとその確認で終わり、その次に向けて各委員が各項目に対して評価を個人的につけるということをおある時期までにメールでいただき、皆さんで出したものを、皆さんにメールでお返しした後、最終的に案文を作ってください、11月の会議で確認していただく。

○館長 11月の時には原案ができていて、それを事前に皆さんにみていただく時間を含めて考えると、皆さんからコメントいただいた意見を集約し一旦お返ししますが、その後、会長プラス事務局で原案を作り、その原案を皆さんにお返し、11月の協議会に臨みたい。11月22日に教育委員会があるので、そこに提出したい。11月13日の協議会で最終決定いただくか、その時もう1回もんで1日2日あとには成案みたいな形でも構いません。

今日はできるだけざっと説明させていただいて、時間まで質問をいただきたいと思っている。

○副会長、奉仕係長説明

○副会長 P1 (Ⅱ-1-1) ブラウジングしやすい書架ってなんですか

○館長 書架の間を散策して見ることです。

○会長 (Ⅱ-1-1) コンピューター関連資料分類とは

○副館長 西東京市の図書館はそもそも全部の分類はフル桁分類していないので、書架に表示されている分類どおりにしてもきれいに並びません。フル桁分類にして並べるよりも独自分類である程度の塊ごとに分ける方が利用者にしても職員にしても使いやすい。コンピューターに関しては進歩するに連れて内容がクロスして分類わけが難しいものが増えてきているので、何年かに一度組み換えをしており、中央図書館のものは最新のものです。他の館にも同じものを導入して作業効率と利用者にとって手にとりやすい書架に切り替えるということで、3つの館で実施した。

○副会長 P16 ハンデイキャップサービスについてですが、5年間の獲得目標、宅配希望者80名の登録を目指しますとかいてあるが、80名というのは何か根拠はあるのか？

○館長 実際に事前のアンケートを利用者に対して行っており、これだと単に重い本が持てないとか、高齢者を含めて潜在的にはかなりいるとはわかったのだが、PRをどこまでしていいか。5年前の時点では、これぐらい行けばいい、という感覚だったのだが、実際声掛け始めると、これで済まないという予測もあった。よってどこまでPRしていけるかというのが、こちらの事業体制が整わないのに、80というのはまちがったやり方だった。その反省はあるが、全市民に対して宅配サービスをやっているからどうぞといったときに、集中するとどうなるか。徐々に広げていくにしても、例えば地域包括支援センターに出かけて行ってそこで数字を把握するとか、手探りのところを絡めていくと徐々に広がっていくのでは。一定の時期にドンとやって、ドンと来た時には、これはパンクするとわかったので、80というのは途中から目標にしなくなった。

○委員 P11 絵本と子育て事業について

○奉仕係長 絵本と子育て事業は、3,4か月健診の乳児とその保護者の方を対象にしている。ブックスタート事業を西東京市では絵本と子育て事業として位置付けている。

○委員 これは2冊入っているのですか。

○奉仕係長 1冊だけ配布するが、2冊のうち好きな方を選んでもらう。そもそも、3,4か月健診のプログラムに絵本と子育て事業が入っている。健診の最後に必ずこちらにお送りくださいといっている。3歳児フォロー事業に関しては、健診の後にしているのですが、プログラムに含まれてはいない。事業開始前に、健康課にプログラムを含めてもらえないか打診したが、現状では難しい

という回答であったため、今の形で実施している。

- 委員 絵本が大好きで行ったのだが、時間が遅くて、子供がぐずってしまう。別の機会を作るなり、健診の時間そのものを子どもの機嫌のいい午前中にしたらと思う。
- 副会長 場所設定を今後検討するというをここには書いていないが、やっぱり健康課とセットでないといけないのか。
- 委員 多分そういう所に行く人は図書館にも連れて行くが、そうではない人にアクセスしたい。
- 奉仕係長 事業の実施場所や内容に関しては、今後検討課題になっている。なぜ健診時にお伺いしているかというのは、健診の受診率の高さ。9割以上の人に来る。図書館なんて全然行ったこともないし、子供が生まれても本の読み聞かせなんてどうしていいかわからない。そもそも頭にないとか、そういう方にお会いできるチャンスは限られている。ただ実際の参加は11パーセントなので、それを継続していったいいとは思ってなく、いろいろな場所を変えての事業展開も今後視野に入れていかなければ思っている。
- 委員 のどか広場などでも独立したお話し会をやっているけど、それは図書館とは関係なく、のどか広場などでやっているものなのですか。もっと連携していけばというお話ですね。のどか広場などでやっているところでも、もっと図書館に行ってみましょうということを自主的におっしゃっています。図書館とは切り離されている場所なのかもしれませんが、図書館に行けばもっと本が読めますよ、ということはお話し会で読み聞かせの方はPRしています。そういう所さえ来ない親子に向けてということですね。
- 会長 P10 お話し会の実施で、小学生限定のお話し会がありますけれど、内容はどのようなものか。例えば素話とか入るのですか。
- 奉仕係長 読む絵本は小学生が聞くに値するもので、比較的長くお話の世界を楽しめるようなもの。工作とセットのものは工作だけではなくその工作に使った資料などの紹介を含めてです。
- 館長 本日配布した事業概要P14-15掲載してある。

次回、第1回臨時会

9月4日（水）午後3時から